

## 役員所感

副理事長 小嶋 宏志

東京オリンピック招致成功でのキーワード「おもてなし」日本人特有の相手を慮る精神性です。この国の美しさには私たちが何気なく生活する中にその精神性が宿っている事に多くの方が改めて気づいたのではないのでしょうか。経済的な指標では日本は世界有数の「豊かな国」です。しかし、経済的な物質的豊かさだけでは我々の目指す「真の豊かさ」には到達し得ず、今問題解決できるのは心の豊かさから意識を変革する事ではないのでしょうか。

我々は社会を変革するリーダーです。そして、明るい豊かな社会を創るのは我々一人ひとりの使命感に裏付けられた行動です。この行動が社会の風潮を打破し、市民意識変革を呼び運動が大きな環となって行くと考えます。その為の課題として突き詰めると挙げられるのはJAYCEEとしての「ひとづくり」に巡り着きます。近年、メンバーの入替が激しく、組織の職を担える人材不足という声をよく耳にします。しかしながら、この事象は過去より続いてきた事であり、毎年その年のメンバーが英知と勇気と情熱を持って自分達で考え、自信を持って行動してきたのではないのでしょうか。創立50周年を迎える本年こそ今一度、最上位に置かれる運動規範であるJC宣言や綱領、そして定款に定められる本会議所の運動指針を本当に理解し大切にしながら単年度制の利点を最大限に発揮する事で一人ひとりが運動の根幹を感じ、そのことで魅力溢れる人材でLOMを組織できると考えます。この組織を糧に社会人として成長することが地域づくりに直結する、ひいては地域を愛し、心の豊かさを実感できる社会に直結する。そんな原点に立ち返り運動を行います。

明るい豊かな社会を志す我々にとって創るべき社会のあり方は成熟しながらも成長する社会です。それは人々が相手を慮り、知恵を絞りあい、地域に誇りを持って、個と公が対等に対話を行いながら、協働して目標に向かう事を共有する地域社会が必要だと考えます。